

# 「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン(改定版)」の構成案 令和 2 年 1 月

## 1. 戦略プランの改定にあたって

### (1) 改定の背景

- 平成 27 年 2 月に策定した前プランの対象期間満了に伴い改定
- 「パリ協定」、「SDGs」等の前プラン策定以降の社会的動向を踏まえる
- 自然エネルギーを活用した地域循環共生圏の創造

### (2) 戦略プランについて

- 平成 24 年 9 月に制定した「湖南省地域自然エネルギー基本条例」を具体化するプラン
- 地域における自然エネルギーの有効活用についての方向性を示す
- 加えて、エネルギーの視点からみた持続可能な地域の在り方を示す（地域循環共生圏）

#### 「湖南省地域自然エネルギー基本条例」の理念

- 市、事業者および市民は、相互に協力して、自然エネルギーの積極的な活用に努めるものとする。
- 地域の自然エネルギーは、地域固有の資源であり、経済性に配慮しつつ活用を図るものとする。
- 地域の自然エネルギーは、地域に根ざした主体が、地域の発展につながるように活用するものとする。
- 地域に存在する自然エネルギーの活用にあたっては、地域ごとの自然条件に合わせた持続性のある活用法に努め、地域内での公平性及び他者への影響に十分配慮するものとする。

### (3) 戦略プランの策定の意義

- 地域の自然エネルギー活用によるエネルギー費用流出の抑制（地域内経済循環の実現・地域経済活性化）
- 地球温暖化対策（CO<sub>2</sub> 排出抑制、【新たな視点】災害時におけるレジリエンス向上）
- 【新たな視点】地域新電力を核とした湖南省版「シュタットベルケ」構想の推進
- 【新たな視点】地域の自然エネルギー活用の在り方における国への提言（地域資源利活用税、近接託送制度）

### (4) 戦略プランの位置づけ

- 新たに、地方公共団体地球温暖化対策実行計画（区域施策編）として位置づけ。

### (5) 対象期間

- 各取り組み：短期集中型のプランとして令和 2 年度からの 5 年間とする。
- CO<sub>2</sub> 削減：パリ協定及び国の計画の期間を考慮し、令和 12 年度（2030 年度）を目標年度とする。

### (6) プランの対象範囲

#### ■対象とするエネルギー

- 太陽光を利用して得られる電気
- 太陽熱を利用して得られる電気
- 水力発電設備を利用して得られる電気（出力 1,000kW 以下）
- バイオマスを利用して得られる燃料・熱・電気
- 燃料電池
- クリーンエネルギー自動車
- 太陽熱
- 風力を利用して得られる電気
- 天然ガスコージェネレーション
- 蓄電池
- その他、省エネルギーに資すること

#### ■対象とする温室効果ガス

エネルギー起源 CO<sub>2</sub> と一般廃棄物の燃焼に伴う CO<sub>2</sub> とする。

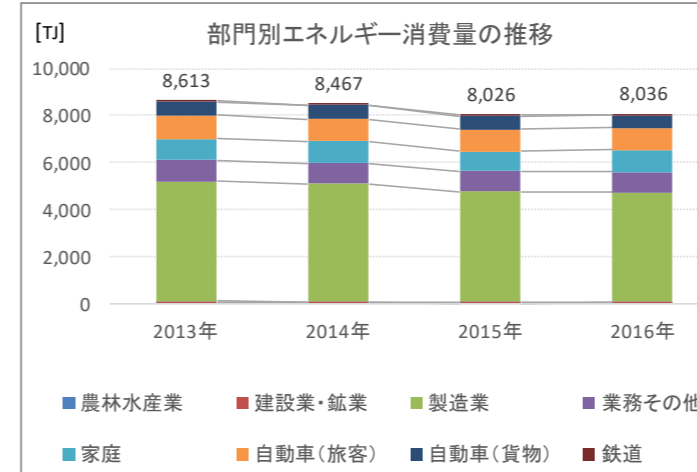
## 2. 湖南省の地域特性

### (1) 一般的事項

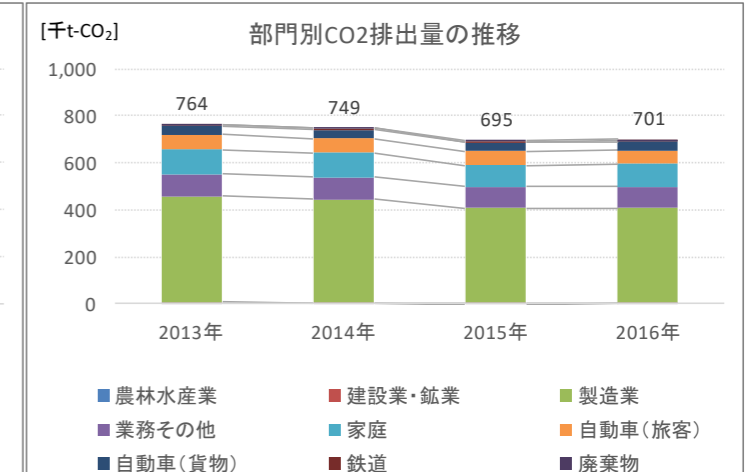
- 1) 地勢      2) 人口・世帯数      3) 気象      4) 産業構造

### (2) エネルギー需給及び二酸化炭素排出量

#### ■エネルギー消費量の推移



#### ■二酸化炭素排出量の推移



#### ■自然エネルギー発電設備導入状況 (2019年6月末現在)

種別	太陽光		水力	風力	地熱	バイオマス	合計
	10kW 未満	10kW 以上					
導入件数 (件)	2,073	366	0	0	0	0	2,439
導入容量 (kW)	8,687	18,432	0	0	0	0	27,119

資料：資源エネルギー庁 固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト提供データを基に作成

### (3) 前プランにおけるプロジェクトの実績と評価

各プロジェクトの実施実績に基づく総合評価及び各種効果は以下のとおり。

プロジェクト名	内容	総合評価	効果 (対象期間 5 年間の累計)		
			経済 [千円]	環境 [tCO <sub>2</sub> ]	副次
① 小規模分散型市民共同発電プロジェクト	市民共同発電事業の推進	◎	15,035	382.58	地域商品券の発行 (11,040 千円)
② 公共施設への率先導入プロジェクト	公共施設の省エネ化及び自然エネルギー・クリーンエネルギー自動車の導入	◎	14,239	336.24	設備導入に伴う地域事業者への工事発注
③ 小水力発電導入プロジェクト	農山村地域における水資源を活かした自然エネルギー等の導入	△	—	—	地域事業者の先進技術開発
④ バイオマス燃料製造プロジェクト	BDF 製造・利用	◎	6,329	137.63	市の廃棄物の有効利用による処理費用の削減
	バイオエタノール製造	×	—	—	—
	芋発電・熱利用	○	(検討中)	(検討中)	障がい者との関わり
	木質バイオマス燃料製造・利用	○	(検討中)	(検討中)	障がい者との関わり
⑤ スマートグリッド街のモデル的整備プロジェクト	スマートグリッド街のモデル的整備を推進、エネルギーマネジメント組織 (地域新電力) の設立	◎	56,151	—	湖南省版シュタットベルケ構想の中核を担う組織の設立
合計			91,752	856.45	—

### 3. 基本方針及び振興方策

#### (1) 理念

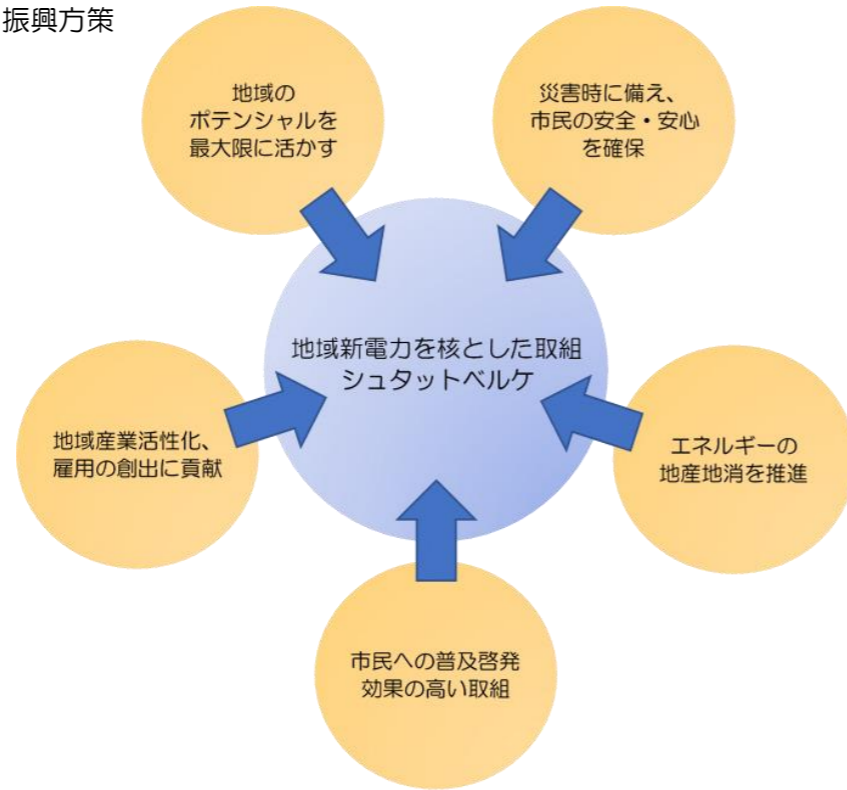
「湖南省地域自然エネルギー基本条例」の理念に基づく。

#### (2) 基本方針及び振興方策

##### ■基本方針

- 安全・安心に暮らせる  
持続可能なまちづくりの推進
- エネルギー・経済の循環による  
地域活性化の推進
- 低炭素なまちづくり  
地球温暖化防止への貢献

##### ■振興方策



#### (3) 目標

##### ■目指す将来像

湖南省版「曼荼羅図」の作成 ⇒ 前プラン掲載「地域内循環が確立された将来の姿」(下図)を本プラン版に更新

##### ■定量目標の検討

- 自然エネルギー
- 導入量
  - 経済性(エネルギー代金の域外流出抑制額)

##### 温室効果ガス

- 二酸化炭素排出量  
⇒市域全体で2030年に2013年比-26%を基本として設定

##### 〈対策〉

- ✓ 自然エネルギー導入拡大
- ✓ 電力排出係数低減
- ✓ 省エネルギーの取り組み



### 4. 振興方策を踏まえた具体的な取り組み

#### ■地域新電力を核とした取り組み

取り組み区分	内容・方向性	目標 (H30 検討より)
①小規模分散型市民共同発電	ソーラーシェアリング事業	30kW3箇所
②自家消費型太陽光発電 (10kW 未満)	卒FIT への対応	卒FIT100 軒買取
③自家消費型再エネ導入 (10kW 以上)	屋根貸し太陽光発電事業	10 箇所
④イモ発電・熱利用 (実動はこなんイモ・夢づくり協議会)	安定的な発電手法の確立、農福連携	イベント等で実証 (停電時活用も含む)
⑤木質バイオマス (実動はこにゃん木の駅プロジェクト)	薪製造・供給体制の確立、林福連携	200t 燃料供給事業
⑥公共施設の維持管理と低炭素化	省エネサービス事業の推進・拡大 公共施設の維持管理体制検討	事務事業編の推進
☆スマートコミュニティ	ガスコジェネの導入検討	
☆近接託送料の創設	地域内電力供給における新たな枠組み提言	
☆湖南省版シュタットベルケ構想	地域循環共生圏を踏まえたモデル構築	

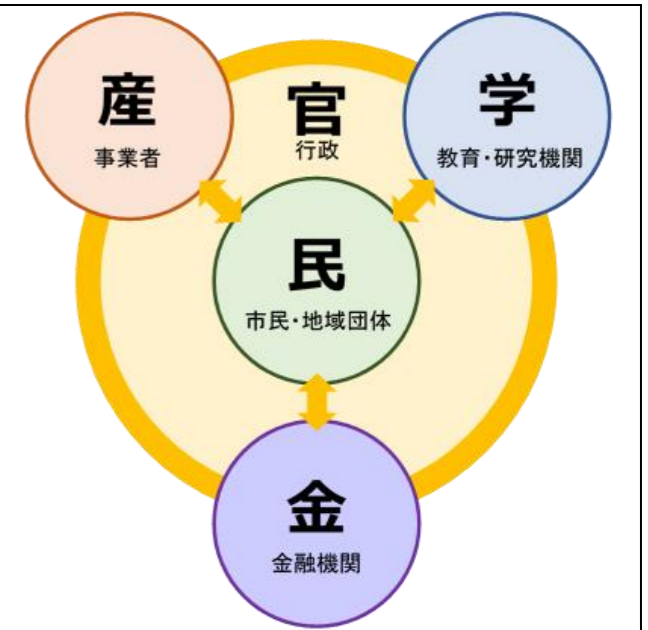
#### ■その他の取り組み

BDF 製造・利用：民間での取り組みとして継続 (前プランにおけるプロジェクトの見直し)

### 5. 戦略プランの実現に向けて

#### ■各主体の役割

主体	役割案
民 市民	出資、イベント・市民連続講座への参加、活動への参加・協力、太陽光発電データの提供・自家消費型太陽光発電の取組実施
民 一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト	発電所の設置・運営、売電量の報告、出資者募集、市の条例・プランに基づく事業実施
産 地元企業	出資、設置場所の提供、各社ホームページ掲載・広報誌掲載、地産地消の推進、製品・技術開発、地域貢献、自家消費型太陽光発電の取組実施、木質バイオマス燃料製造・販売・利用、木質バイオマス需要設備の導入
産 こなんウルトラパワー	地産電力の買取、地域需要家への電力供給、技術ノウハウ・資金提供、新事業の検討、再エネ取組みへの支援、再エネ導入の評価検証
官 湖南省	条例・プラン等整備、設置場所の提供、市広報誌等での周知啓発、イベント・市民連続講座開催、人材育成、地域とのパイプ役、県・国との連携
学 大学等	技術ノウハウ・知見の提供、研究開発
金 地元金融機関	資金調達、融資、地域貢献、企業ネットワークの活用



#### ■推進体制

産・官・学・金連携による『(仮称) 地域循環共生圏連携協議会』(次年度に設立予定) を中核として、各主体と連携しながら推進する。

#### ■進行管理

プランの着実な推進に向けて、PDCA サイクルによる進行管理を行う。

#### ★プラン全体を通して新たに踏まえる考え方・要素★

『地域循環共生圏』、『持続可能な開発目標 (SDGs)』

